

内閣総理大臣 安倍晋三 殿
文部科学大臣 下村博文 殿

朝鮮高校への無償化排除を撤回し、早期適用を実現することを求めます

安倍政権が誕生してからすぐに手を付けたことが、朝鮮高校を無償化の対象から排除し、省令を改「正」したことでした。これは、高校無償化の趣旨に全く反することです。全ての学びたい高校生に等しく学ぶ機会を保障することを謳ったはずなのに、朝鮮高校の生徒だけを排除するという事は、政府が、子どもの学ぶ権利を奪ったことであり、明らかに人権侵害であります。到底容認できません。

もともと、朝鮮学校ができたのは、日本の軍国主義による植民地政策に起因するものです。祖国を追われ、母国語を話すことも、朝鮮名を名乗ることを奪われた在日1世の方々が、民族の誇りを取り戻すためです。残念なことに日本の学校では、民族マイノリティを尊重する学習が行われていないからです。それは過去の侵略を反省し、謝罪していないことから起こっています。それが今でもなんら変わりません。しかし、朝鮮学校では、子どもが健やかに育ち、日本と朝鮮の架け橋になって活躍しております。

ところが、2010年4月に高校無償化が導入されてから、もう4年目を迎えようとしています。この問題で朝鮮学校の子どもたちや保護者は政府のやり方に翻弄されてきました。また、朝鮮学校や保護者への補助金も停止する自治体もあり、学ぶ権利が著しく脅かされています。前政権でも「外交とは関係なく、あくまでも教育上の観点から客観的に審査する」と言いながら、国が定めた基準を満たしているにもかかわらず、無償化適用の申請を放置してきました。そして、安倍政権では、省令「改」定をし、朝鮮学校排除を合法化しようとしています。民族マイノリティの教育は、国際法上でも保障された権利です。朝鮮高校の無償化排除は教育に対する政治の不当介入です。この政府の人権侵害と差別に対して、大阪、愛知で、「高校無償化」排除の違法性を訴え、提訴を開始しました。法による公正な審査を求めています。

安倍政権では、朝鮮学校の生徒や卒業生が裁判に提訴しなければならない状況に追い詰めていることをどうお考えでしょうか。誰でも等しく学べる当然の権利が侵害されているために起ちあがったものです。私たちは、政府が早急に朝鮮高校への無償化排除を撤回し、安心して学べるように無償化適用を早期に実現するように要求します。朝鮮学校の子どもたちの学ぶ権利を保障し、子どもの明るい未来を奪わないでください。

2013年 3月20日

東京都豊島区池袋本町2-6-3
緑の党党首 對馬テツ子